

地域おこし協力隊通信

「協力隊活動の振り返りと今後の意気込み!!」



農業支援班

かたおか
片岡 薫哉

【野菜の力と美味しさに驚きです!】

2015年は自分たちの畑で収穫したミニトマトやレタス、水菜をみちくさや道の駅に出荷させていただき、お手に取っていただいた方々ありがとうございました。昨年自分で畑をやり、管理や作業を通して複数人でやることの大事さを知ることができました。

今年是最終年度なので江府町に残るための仕事づくりをしていきたいと考えています。冬の間に椎茸の植菌を済ませて今年度の秋ごろに、椎茸を出荷できるように準備をし、昨秋には今年の春に取れるソラマメやんにくと言った越冬させる作物を植えることができたので、そういったものの収穫や販売も通して軌道に乗せ、定住に向けた活動をしていきます。



▲冷やしトマトは好評でした



奥大山農業公社班

ふじい
藤井 聖子

【江府町での農業一年目】

〜温かい江府町のみなさんに支えられながら〜

在籍している農業公社を始め、温かい町民の皆さんに囲まれて活動させて頂き、有難い初年度でした。例えば、10月のコンバイン作業です。私が乗ったコンバインの横を、ずっとついて歩いて、理解できるまで何度も説明を下さいました。11月のこんにやく芋の掘り取り・芽かき・洗いで、私の母と同世代の皆さんと作業をしました。お箸が転げただけで笑ってしまう女子高生の様子が、些細なことがとっても可笑しくて、笑い声の絶えない楽しい一時でした。

現在は、プレミアム特別栽培米のデザインに携わっています。形のないものに、形を与えるのは難しくも面白いなあと感じます。12月には、梨の新甘泉の苗木をポットに植え、支柱に誘引しました。この苗木の時期を大切に育てていきたいです。



▲初挑戦のコンバイン作業



まちおこし班

あまみや
雨宮 達樹

【人との“繋がり”でまちづくり】

地域おこし協力隊2年目である2015年は、協力隊として1年目に課題に感じたことや思っていたことを実際に企画やイベント等の形にして取り組んでみる1年間でした。NPO法人の設立や協力隊主催のイベント、1年目には参加者として参加していたイベントの企画運営への協力等の活動を通じて、1年目に見えた江府町とは少し違う目線で江府町という町を見ることが出来た1年間だったと思います。

地域おこし協力隊の最終年度である3年目は協力隊の任期終了後もNPO法人奥大山倶楽部での活動を続けていけるような基盤作りをしていきたいと思っています。私達がこの奥大山倶楽部を立ち上げたのも「協力隊の任期が終わった後も江府町でまちづくりの活動を続けたい」といった想いがあったからです。そんな想いを実現する為にも常に新しい気持ち、視線を持って最終年度の活動に取り組んでいきたいと思っています。



▲2015年最も記憶に残った出来事「NPO法人設立」